



成人式で行われた新成人の主張について2月号に引き続き、今月号 では大森優寛さんの主張をご紹介します。

社会教育課

いかもしれません…。そのたいしょういける言うサフカい	シめてゝたと言った方がく喧嘩をしたというより	「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	ちでいっぱいです。	い出したら、恥ずかしい	正直言って、小学校時	います。	主張を…」と思っている	も「エーあの大	今日、出席されている同	0	席に立たせてもらってい	いたという経緯があり、	みんかぇ…。」の推薦をい	学校の校長生	んやかつてお世話になっ	く思っていますが、教育	ただくことはとても恥ず	今日の成人の主張をさせ	っています。	。将来は教師になりたい	エネルギーを	、そしてアルバイトと青	日々の学業、サークル		私は現在			大家	た水	Land Contraction of the second s	夏軍			利を変えてくれた出会し	
アレ	舌	Z	て、	いょ	と	たら	との	л	いで	じょ	な感	す。	切夕	す。	から	に 輸	迷或	長生	の 行	け	さん	Ы	7	があ	伊野	られ	相談	るま	5 在	りま	起	家	れて	と囲	め 丹

にこそあります。 言ったりしたことも覚えて m罪する時、 里親も心の底 歐所にある里親の家に預け 4での間、南国の中央児童 **ふでも学校でも問題を引き** 心われるくらい、 位の大きな成長は中学校生 6す。思えば、この時初め らお医者さんになりたい。」 小学校の卒業前の校長先生 6した。とても大きな出会 心を掛けました。 おじさん 口為で、里親を裏切り、校 に、大変なご迷惑をお掛 のるのです。 6した。そのため、小学校 るに包まれていることを感 ラ泣いて謝ってくれたので に生や担任の先生に多大な こうして通学していたある 7小学校へ通っていたこと 、そこから汽車で毎日、 こす、いわゆる問題児であ これから先の目標を作る あったと思います。 私はこの時、里親の大き と諭してくださったので そして、私に罪の深さを たことがありました。こ 汽車の中で出会ったおじ れは、伊野中学校へ進学 ができたと思います。 会食の時、「大きくなっ 生の5月から夏休みにな いました。 からは虐待を受けている 毎日怒ら

ることにしました。私を誘っペットという楽器を吹いてみ進曲でよく聞いていたトラン私は小学校の時、運動会の行ありませんでした。そこで、 た。 山先生の厳しさと激しさにた。しかし、実際は顧問の畠 分が知らない知識を色々教えだったので吹奏楽に関して自 がきっかけでした。後、吹奏楽部に入郊 りませんでした。 から基礎練習は苦痛でしかあ る力を持っていませんでした 習の継続でした。私は当初、 というところが本音です。し やっとの思いでついていった 意気込んでいた自分がいまし てくれました。 てくれた友人もトランペット にリコーダーというパートは じの通り、残念ながら吹奏楽 し、吹奏楽経験者の方はご存 に行くつもりでした。しか 好きだったリコーダーを吹き もので、最初は小学校の時に を誘ってくれたという単純な 部に入部しようとしていた私 一つのことに集中して継続す 支える土台を作ってくれまし かし、その厳しさが今の私を い部活生活が始まるぞ!」と しかし、基礎練習をしなけ 私がまず学んだのは基礎練 入部の要因は、友人が科学 「さぁ、これから長く楽し 吹奏楽部に入部したこと

度となく助けられてきまし根性』。私は、この言葉に幾た。先生の口癖は『気合いと も3年間、 いという強い気持ちから吹奏からも、同様に音楽を続けた になっても、この言葉を胸 た。部活や勉強でくじけそう こで、「自分に頂点はない! 致から挫けそうになりながら 楽部に入部し、音楽性の不一 ました。 に、辛いことも乗り越えてき 出会いが大きくしてくれまし とを学ぶことができました。 との出会いで数々の大切なこ ない!」ということを学ぶこ 努力すれば、できないことは とに明け暮れていました。そ ていき、課題をたくさん出さ ら奏者への要求が難しくなっ して、成長とともに、顧問か として少しずつではあります けることを学びました。 ちも手伝って、基礎練習を続 ことを知り、目標である「友 など、吹奏楽そして畠山先生 を作る上での協調性の大切さ とができました。 れ、毎日その課題をこなすこ が、成長していきました。そ 人を抜きたい!」という気持 れば奏者として巧くなれない さらに小津高校に進学して また、担任の多田先生との 他にも、仲間と一つの音楽 基礎練習を続けると、奏者 意義のある生活を

4